

保谷第二小学校放課後子供教室【西東京市】

活動場所	学校内	学校外
	○	
開催日数	188日/年間	
参加人数	遊び場 36人、自由遊び 51人、 学習 53人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
	○	○
学習活動の特徴	自主学習	学習プログラム
	○	○
学童クラブとの連携	一体型	連携型
	○	○

■主な活動場所

保谷第二小学校 校庭・体育館・専科教室・図書室

■開催日

学習活動…水曜日下校時から2～4時間

遊び場…下校時～17時(冬16時)、土・日…13時～17時(冬16時)

■参加対象

学習活動…保谷第二小児童

遊び場…児童・生徒及び保護者が付き添う幼児

■申込み手続き

学習活動…年度当初に参加登録が必要。参加連絡票（要保護者印）を持って教室に参加できる。

活動紹介

児童が放課後一旦帰宅し、校庭や体育館で自由に遊ぶ活動（遊び場開放）と児童が一旦帰宅することなく学校にとどまり、安全な居場所として、教室等を利用した学習活動を実施している。



学習活動の様子

●学習活動の機会提供について

平成28年10月より月3回（水曜日）、児童が一旦帰宅せずそのまま学習活動に参加できる教室を実施。「算数」「英語」「自由学習」「ダンス」の4教室を実施した。英語と算数は学年に合わせ複数の教室を設置した。

平成30年度は「算数」「英語」「自由学習」「ダンス」に加え、新たに「アート」教室を美術大学出身者にアドバイザーを依頼し実施する。

子どもたちからは内容に対し様々な要望が出されており内容の検討に苦慮することもあるが、今後も安全な場所で楽しく学習活動ができるよう充実を図りたい。

コーディネーターや地域の方々などの参加について

- 採用・募集 学習活動のアドバイザー等は保谷第二小学校施設開放運営協議会関係者やその紹介者が担っている。
- 配置人数 各教室 アドバイザー1名、安全員・指導員2～5名
- 運営体制 市が施設開放運営協議会（育成会・PTA・施設利用団体・地域・学校で構成）に事業を委託。

西東京市の取組

- 全教室数 18教室
- 事業目的 市立小学校の施設を開放し、放課後等における子供たちの安全で健やかな居場所づくりを地域住民の参画を得て、地域の実情に合わせて実施しています。
- 事業の成果等 地域の大人がボランティアとして子供たちに関わっており、日常的な地域の子供の見守りへとつながっています。また活動プログラムを実施することによって、地域の方々の人材発掘・活躍の場となっています。